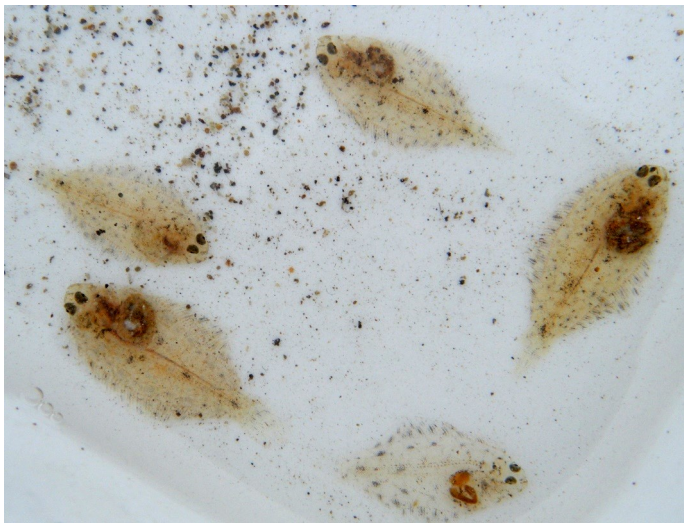


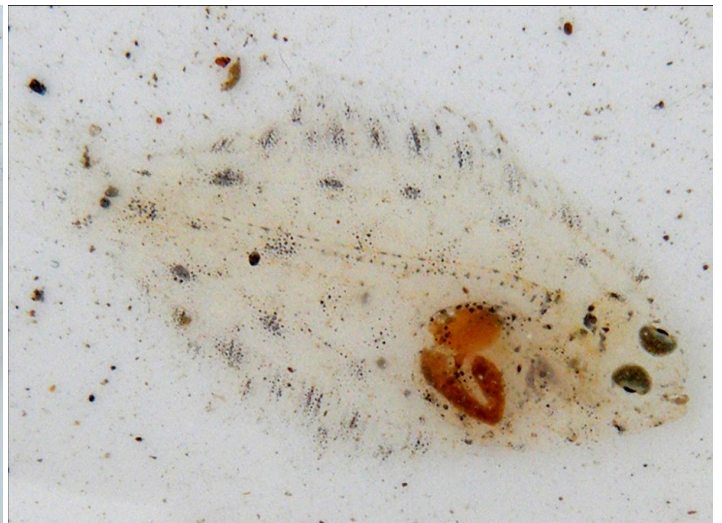
河口にいるのはイシガレイのみ

■河口に現れたイシガレイ

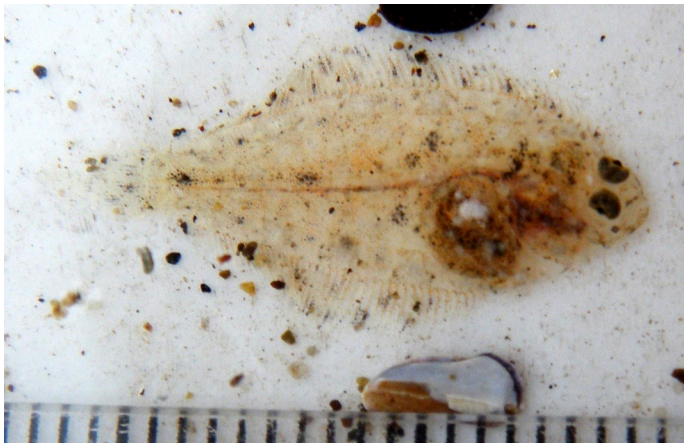
2020年になって最初のイシガレイを、七北田川河口で採集した。全長1.5cmの個体が2匹、2.0cmの個体が4匹であった(Fig.1~3)。河口にまんべんなく分布しているわけではなく、Fig.4の★の位置でのみ採集できた。今回の調査で、底質の違いは感じられず、水の流れの影響等があるのかもしれない。



(Fig.1 採集したイシガレイ)



(Fig.2 色素が未発達 of 個体 全長1.5cm)



(Fig.3 全長2cmの個体)



(Fig.4 採集場所)

■イシガレイしかない

今回の調査でイシガレイは採集できたが、エビやカニ、エビジャコ、ハゼの仲間など河口に定着する底生生物は全く網に入らなかった。イシガレイは外海から移動してくる生物で、通年河口に生息している生物ではない。昨年河口で行われた導流堤の大規模な工事の影響が、まだ残っていると思われる。ただし、これまでの調査で、生物が新たな環境に素早く入り込むことを確認している。今後、底生生物が河口に定着するか目を向けていきたい。